



2022年9月27日

各 位

会 社 名 株式会社オンワードホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 保元 道宣
(コード番号 8016 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役 財務・経理・IR担当 佐藤 修
(TEL 03-4512-1030)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年4月7日に公表しました業績予想を下記のとおり修正致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 2023年2月期 第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正 (2022年3月1日～2022年8月31日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	77,000	△1,800	△1,750	△1,250	△9.22
今 回 修 正 予 想 (B)	82,100	180	640	450	3.32
増 減 額 (B-A)	5,100	1,980	2,390	1,700	12.54
増 減 率 (%)	6.7	—	—	—	—
※ (ご参考) 2022年2月期第2四半期	80,785	△3,294	△2,862	7,448	54.92

2. 2023年2月期 通期連結の業績予想数値の修正 (2022年3月1日～2023年2月28日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	168,700	2,100	2,050	1,700	12.54
今 回 修 正 予 想 (B)	173,800	4,100	4,300	2,200	16.22
増 減 額 (B-A)	5,100	2,000	2,250	500	3.68
増 減 率 (%)	3.0	95.2	109.8	29.4	29.3
※ (ご参考) 2022年2月期	168,453	△1,079	507	8,566	63.17

3. 業績予想数値の修正の理由

当社は、第2四半期連結累計期間の業績予想および通期連結の業績予想を上方修正致します。その理由は、以下の通りです。

第2四半期連結累計期間の売上高については、海外生産、国際物流、店舗や催事への集客などにコロナ禍の影響が残りましたが、OMOサービスを導入した店舗での販売が特に好調に推移したことや、オーダーメイドも含めた顧客本位の商品施策で主力のブランド事業が復調したことなどから、中核事業会社のオンワード樫山を中心に当初の予想を上回りました。

また、2019年度から進めているグローバル事業構造改革の成果として、連結ベースの売上総利益率が当初の予想を大きく上回る一方で、販管費率はさらに改善する見込みです。加えて、為替相場の変動に伴う為替差益の計上も想定しています。

以上の結果、第2四半期連結累計期間においては、営業利益、経常利益、当期純利益の全利益段階で、当初の予想を上回って黒字化を達成する見込みです。

通期連結の業績予想については、各種営業施策の継続によって堅調な推移が見込まれますが、今後気温の低下に伴ってコロナ感染者数が再拡大する懸念がある上に、為替相場や原材料価格の動向なども不透明であることから、第3四半期以降の売上高と営業利益については、当初の予想を据え置いています。また、今後株式相場が変動した場合の投資有価証券評価損の発生などを想定して、特別損失の増加を見込んでいます。

以上を踏まえて、通期連結の売上高および営業利益、経常利益、当期純利益の全利益段階において、当初の業績予想を上方修正致します。

(注) 業績の予想は、本資料の発表日現在において、当社が入手可能な情報に基づき判断して作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上